



愛川ふれあいの村4月の風景

平成27年4月 自然のたより

昨年よりも晴れの日が少なかった上旬。咲いたサクラの花も曇や雨に太陽を隠され、咲いている期間も短かったように感じます。しかし、コケ類は水分を蓄える機能があるため、瑞々しく生き生きとしていました。

下旬には、晴れの日も多くなり、昆虫もいろいろな花の蜜を吸いに飛び回っている様子が見られました。



赤く染まったノムラモミジ



水鏡ができた宮ヶ瀬湖



ヤマブキ



遠くを眺めるメジロ



ヤエザクラ



チヂミカヤゴケ



あくびをしているスズメ



シロヤマブキ



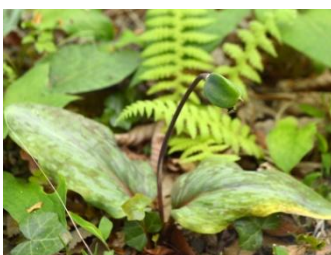
フデリンドウ



葉をつつくヒヨドリ



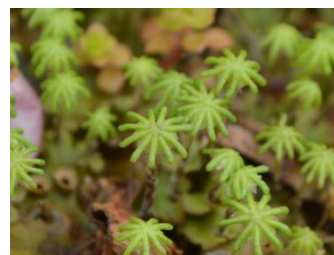
タチツボスミレ



カタクリの種子



タンポポの蜜を吸うハチ



ゼニゴケ（雌）



ヒリリゴの花とセイヨクミヅチ

◆クローバー◆

4つ葉のクローバーの探し方

芝生や川沿いなど、どこでも見ることができる『クローバー』。葉が3枚のものと4枚のものがあります。

なぜ、群生している3つ葉のクローバーの中から、4つ葉のクローバーが生えるのでしょうか。

クローバーは『株』を形成しており、根から枝分かれした、たくさんの茎からクローバーが生えています。そして、3つ葉のクローバーの遺伝子が突然変異を起こし、4つ葉のクローバーが生まれるのです。

4つ葉のクローバーを1本見つけることができれば、その周辺からもたくさんの4つ葉のクローバーが見つかると言われています。

これからたくさんクローバーが見られます。探す際は、ひとまず1本、探してみてください。



▼カラスの巣、発見!▼

第2キャンプファイヤー場から管理棟へ続くメタセコイアの樹上に、カラスが巣を作っていました。巣ができたら卵を産み、子育ての時期に入ります。子育ての期間中、親鳥は神経が敏感になっています。観察をする場合、カラスをおどかさないうように、望遠鏡などを使って子育ての様子を見守ってくださいね。



★旬のお知らせ：4月★

春によく見られるのは『タンポポ』。実は根っこをお茶やコーヒーに加工して販売もされています。タンポポコーヒーやお茶は、冷え症や便秘の改善、そして発毛や育毛作用もあるそうです。コーヒーやお茶にする場合、手



間はかかるようですが自分の身の回りにあるもので、飲み物を手作りすることも、生活の楽しみになるのではないのでしょうか。ぜひ一度、試してみてくださいいかがですか。



◎五月の注目ポイント◎
五月二十二日は何の日かご存知ですか?
この日は、国連の制定した『国際生物多様性の日』です。生物多様性とは、「多くの動植物がお互いのつながりの中で生きている状態」を意味します。
私たちの暮らしは食糧や水の供給など、自然界から恵みを受けており、これを『生態系サービス』と言います。たった一種の生物が激減してしまったら、人間の活動が原因で自然環境を破壊してしまったりすると、この生態系サービスが崩れます。
私たちは快適さだけを求めて行動するのではなく、私たちも自然界の一部だということをしっかりと意識をして、生活をしていかなければならないでしょう。

発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611 HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・大瀧裕基子 文章：大瀧裕基子

編集：大瀧裕基子・吉田文雄



愛川ふれあいの村で、検索★